

恵仁会 通信 (戮力協心) vol.37

発行所 : 医療法人社団 恵仁会 あすか歯科クリニック
〒085-0052 釧路市中園町10丁目12番地
TEL0154-21-3300 FAX0154-21-3330



Q.根の治療はどうして長くかかることがあるの？

根の治療が必要なのはどんな時？

虫歯が神経まで進行した場合や根の病気になった時に神経が入っていた根管をきれいにして根の先まで薬を入れて処置する必要があります。

代表的な歯髄炎と根尖性歯周炎

【歯髄炎(しずいえん)】簡単に言うと、歯髄に炎症が起こったものです。これは多くが虫歯の進行が歯髄に達することで起こります。ズキンズキンとした痛みや夜間時痛など激しい症状があります。

【根尖性(こんせんせい)歯周炎】

歯髄炎に続き起こる疾患で、歯髄炎の原因となった微生物が根尖孔から出て歯槽骨にまで及んだ状態です。歯髄が死んでいるので、痛みは少なく、歯の根周辺の圧痛や違和感があります。しかし、放って置くと抜歯の必要や、骨髄炎など重い病気に移行する可能性があります。

治療はどうするの？

- 【抜髄ばつずい】虫歯を削り歯髄を取り除く
- 【感染根管処置かんせんこんかんしょち】根管に残っている歯髄のカスや微生物・細菌、膿などを根管を削りながら取り除く。この時、薬物を使い根管が完全にきれいになるまで、薬を交換し続ける。薬を入れた後は仮の蓋(仮封)をする。
- 【根管充填こんかんじゅうてん】□の処置後、根管をセメントと細い棒状の素材(充填剤)で、隙間が出来ないように完全にふさいでいく。この処置により、細菌などが再び根管に入り込むのを防ぐ。以上で、基本的な根の治療は終了です。その後、症例によって、土台を立ててから、冠を被せたり、差し歯を作るなど最終的な治療に入ります。

根管治療はかなり難しい・・・

歯の根の治療は被せ物などの土台になる処置です。(家に例えると基礎に相当します。いくら外見がきれいな家でも基礎に問題があれば、その家は傾くなどの問題が出てくるのと同様です)

歯の根は直接見ることがない上に、歯の種類によりその形も様々です。その為、時間を掛けて慎重に治療を行わなければ、根の先まで完全に細菌を取り除くことが出来ません。もし、細菌を取り残した状態で被せ

物や詰め物をしてしまうと、後になって細菌が増殖して被せ物の作り直しや最悪の場合は抜歯になってしまうこともあります。

A.根の治療期間が長いのは、根の中を完全にきれいにする為だったんだぁ！

根の治療は、見えない所の処置ですが非常に大切です。根気良く続けましょう！